

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	市民活動・NPO・対人支援分野の隘路と希望：卒業生との共同プロジェクト				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部 教授	氏名	津富 宏
	研究分担者	所属・職名	一般社団法人サステイナブル・サポート	氏名	渡辺 眞子
		所属・職名	NPO 法人 NEWVERY	氏名	奥留 志保
		所属・職名	一般社団法人グリーンパークあさはた	氏名	村松 可菜
	発表者	所属・職名	国際関係学部 教授	氏名	津富 宏

講演題目	市民活動・NPO・対人支援分野の隘路と希望：卒業生との共同プロジェクト
------	-------------------------------------

**研究の目的、成果及び今後の展望**

目的： 国際関係学部には、学生自体のサークル活動を通じて、市民活動・NPO・対人支援の分野に進んだ卒業生が多く、「現場」の人間として、社会性と事業性が同時に求められるという矛盾と対峙し、理念を維持しながらどのように事業を継続し暮らしを成り立たせていくかという問いに向き合いながら働き続けている。本研究では、この分野で働く卒業生が、日々の活動・仕事・生活の中で感じていること・考えていること・疑問に思っていることを語り合う場（トークセッション）を設けることで、これらの分野で働いている卒業生の思考を集合知としてコレクティブに深め、この集合知を、在学生、他の卒業生、一般市民との共有財とすることを目的とする。

成果： 卒業生 3 名と発表者が企画チームとなり、「みんなの NPO 研究室」というプロジェクトを開始し、合計 10 回のトークセッションをオンラインで開催した。トークセッションには、毎回 3 から 4 名の卒業生や、関連分野の専門家に登壇してもらい、毎回 1 時間半話してもらった。テーマは以下のとおりである。

NPO の働き方編： 第 1 回 よりよい社会をつくる仕事・活動に携わるわたしのキャリア  
第 2 回 NPO で働く・活動するみんなのお悩み座談会

NPO の悩み方編： 第 3 回 わたしのミッションと暮らしのすり合わせ  
第 4 回 NPO の財源に関する勉強会

NPO の考え方編： 第 5 回 人を援助することを考える  
第 6 回 学生時代の活動がいまの自分にもたらしたものは

毎回のトークセッションの概要は、オンラインによる記事発信プラットフォーム note で「みんなの NPO 研究室」として発信し、最終的には、20 ページからなる冊子としてまとめ、オンライン及び紙媒体で公表した。

これらのトークセッションを通じて、学生サークルという原体験が、卒業生の今にどう活かしているかをめぐり、以下の二点が見いだされた。ひとつは、学生サークルで活動した卒業生は、ミッションをめぐる二つの問い（「これは本当に私たちのやりたいことか」という問いと、「私たちは本当にミッションを達成しているのか」という問い）を持ち続けながら生きようになるということ、もう一つは、卒業生たちは、学生サークルでの活動を通じて身体化した、人とのつながり方を保ちながら生き続け、その結果として人生を変えていくということである。

展望： この冊子を用いて、在学生に対するキャリア教育に役立てたり、また、卒業生と在学生のコミュニティ形成に役立てたりしていく予定である。